

アクティブスピーカーシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SRS-Z555PC

Sony Corporation ©1999 Printed in Philippines

主な特長

SRS-Z555PCは、USB対応のアンプ内蔵小型スピーカーシステムです。

USB接続によりノイズ影響を受けにくいため、より高音質で迫力のある音を聞くことができます。

ノイズの少ない迫力ある音を楽しめます

- USB対応によりノイズの影響を受けにくく、よりクリアで立体感のあるサウンドを再現。
- 新開発のΣ型磁気回路採用により小型ながら重低音を再生。
- 実用最大出力3 W + 3 Wのハイパワーアンプ内蔵。
- 再生音量にかかわらず豊かな低音に補正する、IBB (Intelligent Bass Boost) 回路内蔵。

USB対応で接続が簡単になります

- Windows®98が起動している最中にUSB機器を接続すると、Windows98が自動的に機器を認識してセットアップをおこなうことができます(プラグアンドプレイ)。
- パソコンの電源を入れたままでもUSBケーブルの抜き差しができます(ホットプラグ)。

モニターのそばにも置けます

- モニターやテレビのそばに置いても画面に影響を与えることが少ない防磁型設計(防磁型 / EIAJ*)。

* 日本電子機械工業会の略称です。

正しくお使いいただくために

安全上のご注意

安全について：

家庭用電源コンセント(AC 100V)につないでお使いください。

電源コードについて：

電源コードを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグを持って抜いてください。

留守にするときは：

ご旅行などで長い間お使いにならないときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

異物について：

特に、ジャックには異物を入れないでください。故障や事故の原因になります。

異常や不具合が起きたら：

万一、異常や不具合が起きたときや異物が中にはいったときは、すぐに電源コードを抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

取り扱い上のご注意

- スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはしないでください。
- キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。
- 次のような場所は避けてください。
 - 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所。
 - 窓を閉め切った自動車内(特に夏季)。
 - 風呂場など、湿気の多い所。
 - ほこりの多い所、砂地の上。
 - 時計、キャッシュカードなどの近く。(防磁設計になっていますが、録音済みテープや時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、スピーカーの前面に近づけないでください。)
- 平らな場所に設置してください。
- 設置条件によっては、倒れたり落下したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。

モニター画面に色むらが起きたら

このスピーカーシステムは防磁型のため、モニターのそばに置いて使うことができますが、モニターの種類により色むらが起こる場合があります。

色むらが起きたら

いったんモニターの電源を切り、15～30分後に再び電源を入れてください。

それでも色むらが残るときは

スピーカーをさらにモニターから離してください。

さらに

スピーカーの近くに磁気を発生するものがないようにご注意ください。スピーカーとの相互作用により、色むらを起こす場合があります。

磁気を発生する物

ラック、置き台の扉に装着された磁石、健康器具、玩具などに使われている磁石など。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

主な仕様

付属品	ACパワーアダプター(1) USBケーブル(1) 接続コード(1) 取扱説明書(1) 取扱説明書(安全のために)(1) 保証書(1) ソニーご相談窓口のご案内(1)
別売りアクセサリ	プラグアダプターPC-234S (ステレオ標準プラグ ↔ ステレオミニジャック) PC-236MS(ミニプラグ ↔ ステレオミニジャック) 接続コードRK-G129、RK-G136
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。	
* EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。	
本体のCEマークはEU加盟国で販売されている製品にのみ有効です。	
USB部(左スピーカー) USBコネクター シリースB 対応OS Microsoft Windows98 アンプ部(左スピーカー) 実用最大出力 3 W + 3 W (EIAJ*) 入力 ステレオミニジャック (INPUT) 入力インピーダンス 4.7 kΩ (1 kHz) スピーカー部 型式 フルレンジ パスレフ型 使用スピーカー 直径57 mm防磁型 インピーダンス 8 Ω 定格入力 3 W 電源部*その他 電源 DC 9 V 最大外形寸法 約80 × 145 × 135 mm (幅 / 高さ / 奥行き) 質量 左スピーカー 約 650 g 右スピーカー 約 550 g	

故障かな？と思ったら

共通		
症状	原因	処置
音が割れる。	入力信号が大きすぎる。	接続した機器の音量を下げる。
音が小さい、または音が出ない。	POWERスイッチがOFFになっている。	POWERスイッチをONにする。
	VOLUMEつまみが最小(MIN)に絞られている。	VOLUMEつまみで調節する。
	接続コード・ケーブルがしっかり接続されていない。	接続コード・ケーブルを確実に接続する。
	入力信号が小さすぎる。	接続した機器の音量を上げる。

USB接続の場合		
症状	原因	処置
音が出ない。	パソコンのオーディオ再生デバイスが正しく設定されていない。	Windows98の「マルチメディアのプロパティ」設定で「オーディオ」を選択し、再生を優先するデバイスを「USBオーディオデバイス」にする。
	パソコン側のボリュームコントロールの「ミュート」が設定されている。	ミュートを解除する。
	USBポートが認識されていない。	再生ソフトウェアを終了し、起動しなおす。それでも解決しない場合は、コンピュータを再起動する。
	USBが使用不可になっている。	Windows98の「システムのプロパティ」を確認する。
音が小さい。	パソコン側のボリュームコントロールで音量が絞られている。	ボリュームコントロールを調節する。
音が割れる、ノイズが出る、または音が出ない。	パソコン側のCPU負荷が大きい。	他のアプリケーションを終了する。それでも解決しない場合は、USBケーブルをはずし、本機のINPUT端子に付属の接続コードを使ってパソコンを接続し(裏面「接続」参照)、パソコンのオーディオ再生デバイスを「USB」から内蔵のサウンドカードに切り換える。

なお、パソコンの操作について詳しくは、お使いのパソコンの取り扱い説明書をご覧ください。

以上の処置を行っても改善されないときは故障と考えられます。

お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

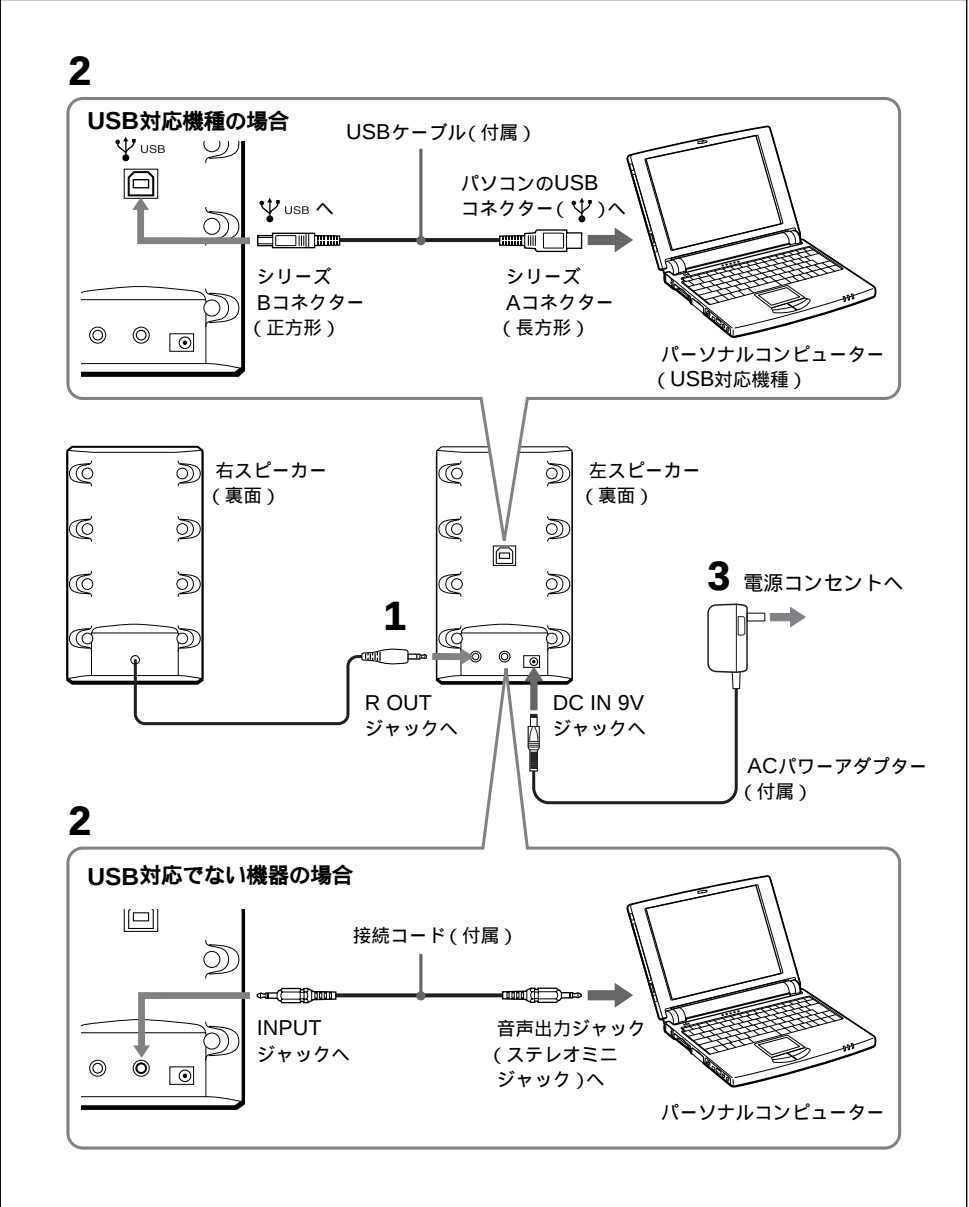
当社ではアクティブスピーカーシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

MicrosoftおよびWindowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

準備

USB接続でお使いになる場合は、必ず「準備1：接続」と「準備2：デバイスドライバーのインストール」をおこなってください。

準備1：接続



1 右スピーカーを左スピーカーのR OUTジャックに接続する

2 左スピーカーをパソコンに接続する

USB対応機種の場合：
付属のUSBケーブルを左スピーカーのUSB端子とパソコンのUSBポートに接続する。

USB対応でない機器の場合：
付属の接続コードを左スピーカーのINPUTジャックとパソコンの音声出力ジャック(ステレオミニジャック)に接続する。

3 付属のACパワーアダプターで電源コンセントにつなぐ

ご注意
この製品には、付属のACパワーアダプター(極性統一形プラグ・EIAJ規格)をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



極性統一形プラグ

長時間使用しないときは、ACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。

USB接続時のご注意

- パソコンとの間にハブを介して他のUSB機器をつなぐと音が出なかったり、ノイズ発生の原因になることがあります。必ずパソコンと直接接続してください。
- 動作推奨機種以外のパソコンとの接続では正しく音が出ないことがあります。

USB対応でない機器との接続時のご注意

ラジオなどのモノラルジャックにつないだときは、左スピーカーからしか音が出ないことがあります。別売りのプラグアダプターPC-236MSを使うと左右のスピーカーから音が出ます。

標準タイプのヘッドホンジャック(カセットデッキなど)につなぐには

別売りのプラグアダプターPC-234S、または接続コードRK-G138をお使いください。

準備2：デバイスドライバーのインストール

初めてUSBポートに接続したときに必要です。
デバイスドライバーはWindows98に含まれており、本機には付属していません。
なお、デバイスドライバーのインストールには、お手持ちのWindows98 CD-ROMが必要になる場合があります。
詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

1 パソコンの電源を入れ、Windows98を起動する

2 スピーカーのPOWERスイッチを押してONにする

USBスピーカーを初めて接続すると、「新しいハードウェア追加ウィザード」が表示され、デバイスドライバーのインストールが自動的に始まります。

パソコンの画面の指示に従って各ドライバーをインストールしてください。

3 USB互換デバイスをインストールする

- 「新しいハードウェアが検出されました。ドライバを探しています」と書かれたウィンドウに「USB互換デバイス」と表示されていることを確認し、「次へ」をクリックする。
「検索方法を選択してください」と表示されます。
- 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」のチェック欄にマークされていることを確認して「次へ」をクリックする。
「新しいドライバは、ハードドライブのドライバデータベースと、次の選択した場所から検索されます。」と表示されます。
- 「CD-ROM」のチェック欄にマークされていることを確認して「次へ」をクリックする。
「次のデバイス用ドライバファイルを検索します。」と表示されます。
- 「USB互換デバイス」と表示されていることを確認し、「次へ」をクリックする。
「Windows98 CD-ROMラベルのついたディスクを挿入して[OK]をクリックしてください。」と表示された場合は、Windows98 CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、「OK」をクリックします。
「ファイルのコピー」と表示され、ドライバーのコピーが行われます。
- 「USB互換デバイス 新しいハードウェアに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されたら、「完了」をクリックする。

4 USBヒューマンインターフェイスデバイスをインストールする

- 「次の新しいドライバを検索しています」と書かれたウィンドウに「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されていることを確認し、「次へ」をクリックする。
- 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」にチェックされていることを確認して「次へ」をクリックする。
「新しいドライバは、ハードドライブのドライバデータベースと、次の選択した場所から検索されます。」と表示されます。
- 「CD-ROM」にチェックされていることを確認して「次へ」をクリックする。
「次のデバイス用ドライバファイルを検索します。」と表示されます。
- 「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されていることを確認し、「次へ」をクリックする。
ドライバーのコピーが行われます。
- 「USBヒューマンインターフェイスデバイス 新しいハードウェアに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されたら、「完了」をクリックする。

5 USBオーディオデバイスをインストールする

- 「次の新しいドライバを検索しています」と書かれたウィンドウに「USBオーディオデバイス」と表示されていることを確認し、「次へ」をクリックする。
- 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」にチェックされていることを確認して「次へ」をクリックする。
「新しいドライバは、ハードドライブのドライバデータベースと、次の選択した場所から検索されます。」と表示されます。
- 「CD-ROM」にチェックされていることを確認して「次へ」をクリックする。
「次のデバイス用ドライバファイルを検索します。」と表示されます。
- 「USBオーディオデバイス」と表示されていることを確認し、「次へ」をクリックする。
ドライバーのコピーが行われます。
- 「USBオーディオデバイス 新しいハードウェアに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されたら、「完了」をクリックする。

ご注意

- 2回目以降の接続では上記のインストール作業の必要はありません。
- 今後、Windows98の内容が変更された場合は、上記の作業手順と異なる手順が必要となる可能性があります。

音楽CD再生の設定

CD-ROMドライブで、音楽CDを再生する場合はこの設定が必要です。

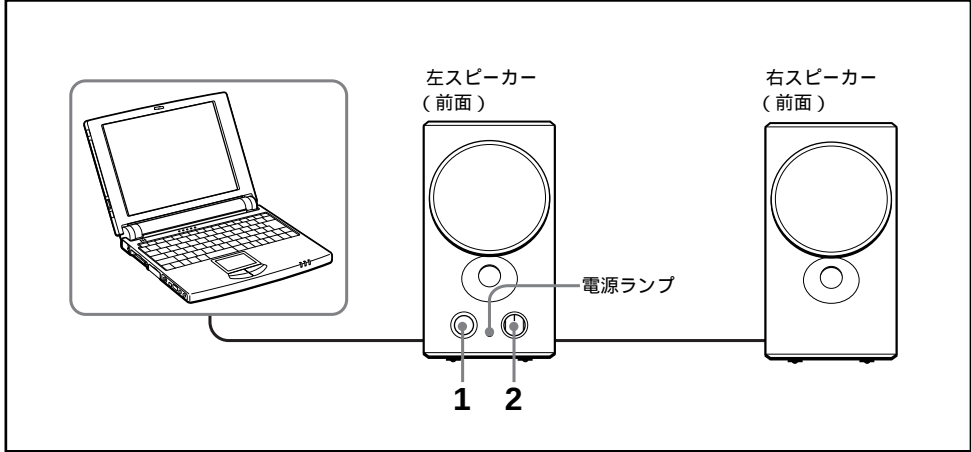
1 「スタート」メニュー→「設定」→「コントロールパネル」を選択する

2 「マルチメディア」のアイコンをダブルクリックし「マルチメディアのプロパティ」を開く

3 「音楽CD」項目を選択する

4 「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」のチェック欄をクリックする

使いかた



1 POWERスイッチを押してONにする

電源ランプが点灯します。

2 VOLUMEつまみで音量を調節する

聞き終わったら、POWERスイッチを押してOFFにしてください。電源ランプが消えます。

ご注意
MDウォークマン*やポータブルCDのMEGA BASS機能は解除してください。ひずみの原因となる場合があります。

* MDウォークマンはソニー株式会社の商標です。